



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 一木 茂
 (氏名) 高崎 正年

TEL 03-5224-4900

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,279	△10.8	5	△65.3	△13	—	△18	—
28年3月期第2四半期	1,434	6.5	15	—	△5	—	9	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △54百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	△0.68	—
28年3月期第2四半期	0.44	0.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第2四半期	5,926	2,742	46.3	102.69
28年3月期	5,339	2,797	52.4	104.72

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,742百万円 28年3月期 2,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,531	△26.1	45	△36.0	5	△86.8	167	—	6.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	27,117,556 株	28年3月期	27,115,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	413,649 株	28年3月期	413,490 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	26,702,254 株	28年3月期2Q	22,201,715 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」)の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国をはじめとするアジア新興国の景気下振れや英国のEU離脱問題などに伴う海外経済の不確実性、また、金融市場の変動などの影響に留意する必要があります。当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第2四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、ホテル等の事業所の採算維持・向上のための施策並びに食品製造機械の生産・受注活動など、経常的な収益力を強化するための取り組みを積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期の当社グループの業績は、前年同期と比較して、所有不動産の増加等が収益向上に貢献したものの、事業所の減少によるオペレーション事業における減収減益をカバーすることができず、売上高1,279百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益5百万円(前年同期比65.3%減)、経常損失13百万円(前年同期は経常損失5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円)と減収減益となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第2四半期は、京都市左京区、大阪市天王寺区並びに札幌市中央区に賃貸用マンションを取得し、売上高179百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益45百万円(前年同期比10.2%増)の増収増益となりました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第2四半期は、売上高898百万円(前年同期比17.5%減)、セグメント利益22百万円(前年同期比42.9%減)の減収減益となりました。その主要因は、前年同期と比較して、平成28年3月に「国民宿舎マリンテラスあしや」が契約満了となったこと、また、ホテルJALシティ松山において、競合店の参入に伴う影響がみられたことであります。

(マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、旭工業株式会社(連結子会社)において、食品製造機械の製造及び販売を行っております。

当第2四半期は、4件の納品を完了し、保守による収入も堅調に推移したことから、売上高201百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益16百万円(前年同期比150.9%増)の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は5,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ587百万円増加いたしました。現金及び預金の減少433百万円、有形固定資産の増加1,066百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は3,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ642百万円増加いたしました。長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加793百万円、流動負債のその他の減少103百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は2,742百万円で、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。その他有価証券評価差額金の減少36百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は46.3%(前連結会計年度末は52.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における実績等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成28年5月12日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想を平成28年11月7日付で修正いたしました。詳しくは平成28年11月7日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 (平成28年) 3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,180	806,526
受取手形及び売掛金	208,760	173,570
営業投資有価証券	373,424	335,322
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	2,175	1,574
仕掛品	40,789	64,767
原材料及び貯蔵品	16,791	18,997
その他	82,116	100,298
貸倒引当金	△870	—
流動資産合計	2,013,367	1,551,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,465,543	2,171,524
土地	1,484,859	1,847,670
その他(純額)	108,423	106,433
減損損失累計額	△129,489	△129,489
有形固定資産合計	2,929,337	3,996,138
無形固定資産		
のれん	254,420	227,882
その他	723	633
無形固定資産合計	255,143	228,515
投資その他の資産		
投資有価証券	24,956	24,956
敷金及び保証金	92,853	95,253
その他	25,694	32,659
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	141,585	150,949
固定資産合計	3,326,067	4,375,604
資産合計	5,339,435	5,926,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	97,327	74,511
1年内返済予定の長期借入金	115,884	175,751
未払費用	120,853	96,067
賞与引当金	3,900	5,160
役員賞与引当金	900	1,200
その他	289,905	186,217
流動負債合計	628,770	538,908
固定負債		
長期借入金	1,724,779	2,458,376
長期預り敷金保証金	63,335	68,960
役員退職慰労引当金	10,600	11,600
退職給付に係る負債	30,050	30,770
その他	84,580	75,690
固定負債合計	1,913,345	2,645,397
負債合計	2,542,115	3,184,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,700,970	2,701,272
資本剰余金	270,000	270,301
利益剰余金	△84,389	△102,660
自己株式	△83,349	△83,394
株主資本合計	2,803,232	2,785,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,056	△43,161
その他の包括利益累計額合計	△7,056	△43,161
新株予約権	1,144	—
純資産合計	2,797,319	2,742,356
負債純資産合計	5,339,435	5,926,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,434,237	1,279,332
売上原価	571,470	512,507
売上総利益	862,767	766,825
販売費及び一般管理費	847,197	761,429
営業利益	15,569	5,395
営業外収益		
受取利息	45	6
受取配当金	8	4
貸倒引当金戻入額	0	870
その他	1,613	885
営業外収益合計	1,666	1,766
営業外費用		
支払利息	12,136	13,588
新株発行費	4,546	—
支払手数料	5,916	6,829
その他	0	150
営業外費用合計	22,600	20,567
経常損失(△)	△5,363	△13,405
特別利益		
新株予約権戻入益	7,120	924
投資有価証券売却益	17,400	—
その他	430	—
特別利益合計	24,950	924
特別損失		
固定資産除却損	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,587	△12,561
法人税、住民税及び事業税	10,365	18,398
法人税等調整額	△513	△12,688
法人税等合計	9,852	5,709
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,734	△18,271
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,734	△18,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,734	△18,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,647	△36,104
その他の包括利益合計	△1,647	△36,104
四半期包括利益	8,086	△54,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,086	△54,376

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	154,863	1,088,429	190,944	1,434,237	—	1,434,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	154,863	1,088,429	190,944	1,434,237	—	1,434,237
セグメント利益	41,042	38,583	6,697	86,323	△70,754	15,569

(注) 1. セグメント利益の調整額△70,754千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	179,219	898,341	201,772	1,279,332	—	1,279,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	179,219	898,341	201,772	1,279,332	—	1,279,332
セグメント利益	45,246	22,026	16,806	84,079	△78,683	5,395

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,683千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な子会社株式の譲渡

当社は、平成28年10月11日開催の取締役会において、当社の連結子会社である旭工業株式会社の全株式を東証1部上場の株式会社日阪製作所へ譲渡することを決議いたしました。

1. 異動(株式譲渡)の理由

旭工業株式会社は創業者の事業承継を事由に当社が平成23年8月17日付取得したものであり、取得して以降は経営管理を中心に後継者の育成、企業体質の強化と企業価値向上に努めて参りました。

更なる企業価値向上と経営基盤強化のために、事業上のシナジー効果が期待できる会社への譲渡を検討していたところ、株式会社日阪製作所の食品殺菌機器事業とのシナジー効果が期待できるものと判断し、全株式を譲渡することにいたしました。

2. 譲渡する相手会社の名称

株式会社日阪製作所

3. 譲渡の時期

平成28年11月1日

4. 当該子会社等の名称、事業内容及び当社との取引内容

- (1) 子会社の名称：旭工業株式会社
- (2) 事業内容：食品製造機械の製造、販売及び保守
- (3) 当社との取引内容：経営管理業務の受託

5. 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡前後の所有株式の状況

- (1) 譲渡前の所有株式数：20,000株(議決権所有割合：100%)
- (2) 譲渡株式数：20,000株(発行済株式数に対する割合：100%)
- (3) 譲渡価額：350百万円
- (4) 譲渡損益：本株式譲渡による平成29年3月期の業績に与える影響は算定中です。
- (5) 譲渡後の所有株式数：0株(議決権の数：0個、議決権割合：0%)